

平成30年度「みえ高校生県議会」質問内容と答弁の概要(平成30年8月21日開催)

教育警察常任委員会関係分

※答弁の概要には現状説明の部分は省略しています。

学校名	質問項目等	今後の対応等に関する答弁の概要	答弁した委員長
桑名北高校	○県内の学校における道徳教育について 県として高校生の道徳教育の取組に対して、どのような支援、指導を実施しているのか。	・本委員会としても、皆さんの心に届くような体験を通じて、自他の命を大切にする心や思いやりの心、責任感、規範意識等、豊かな心が育まれる教育活動が行われるようしっかりと調査、審査を深めてまいりたいと考えている。	木津委員長 (教育警察)
三重高校	○三重県の教育と順位の捉え方について 順位を付けることは競争を学ぶ上で必要なことであり、順位から個性の尊重や相互理解を学ぶべきだと考えるが、学校での教育活動で子どもに順位をつけることについてどのように考えるか。	・教育活動で順位をつけることはそれぞれの子どもが、自分が奮起するきっかけになったり、自分が頑張った成果を見て満足感を得られたりすることもあるのではないかと考えている。一方で順位をつけることで、過度な競争が煽られたり、負担を感じる子どももいることに配慮しつつ、学校における教育活動を進めていくことも必要ではないかと考えている。	木津委員長 (教育警察)
紀南高校	○学校における中高校生の共助の意識向上や活動の普及について 県内の中学校・高校において、災害時やその後の復旧・復興における共助の意識の向上や活動の普及はどのように図っていくのか。	・当委員会としても、皆さんからいただいた思いを県当局に伝えるとともに、共助意識の向上や活動の普及に向けた取り組みが定着し、実効性のあるものになるよう、今後も委員会としてしっかりと議論を深めていきたいと思っている。	木津委員長 (教育警察)

学校名	質問項目等	今後の対応等に関する答弁の概要	答弁した委員長
暁高校	○若年層の防災意識の向上にむけた新たな取組について 高校生の防災意識向上のために、県として今後新しく取り組まれる施策について聞きたい。	・今行っているいろいろな事業を拡大する、あるいは充実するという方向でしばらくは取り組んでいきたいと考えている。	小島委員長 (防災県土整備企業)
	地域の高校生が主体となった啓発活動や訓練の講習会を実施してはどうか。また、SNSについて、企業とタイアップして登録キャンペーンを実施したり、高校生の関心を高めるような内容にするなどもっと有効に活用してはどうか。	・皆さんに教えていただいた提案についても、今後委員会の中でしっかりと反映できるように協議したいと思っている。	小島委員長 (防災県土整備企業)
津高校	○三重県における国際交流の推進について JETプログラムによるALTの働き方について長期的なこようを見据えた工夫の余地があるのではないか。	・制度自体の仕組みでは5年間となっているので、5年間ずっと続けてもらえるような取組が必要かと思っている。 ・5年の期間を終えて人がかわっていくというのも国際交流でのいろいろな方々との交流という部分では効果的だと思うので、この5年間を有効に使えるような取組をしていきたいと思っている。	芳野委員長 (戦略企画雇用経済)
	JETプログラムによるALTの数を増やせないのか。	・ALTの増員についてもしっかりと県としても取り組んでいきたいと思っている。 ・14校掛け持ちですとか、いくつかの掛け持ちをしているALTさんもいると思うので、質の向上というのもしっかりと図っていききたいと思っている。	芳野委員長 (戦略企画雇用経済)
	JETプログラム参加者をもう少し多くの国から招致できないのか。	・全国的に要望いただくのは英語の授業で使われるので英語圏の12か国からくる人が一番多い。三重県はその英語圏の12か国の中の11か国の人をALTとして配置しているので、その中でしっかりとそれぞれの地域の特性を生かした英語教育をしてもらおうと思っている。	芳野委員長 (戦略企画雇用経済)